



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年2月20日

上場会社名 中央ビルト工業株式会社

(コード番号：1971 東証第2部)

(URL <http://www.chuo-build.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 西本 安秀

問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 篠崎 正明

TEL：(03) 3661-9631

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容) 法人税や引当金の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	6,572	7.2	520	10.8	450	15.8	440	38.4
18年3月期第3四半期	6,129	△4.1	469	55.6	389	101.6	318	△70.3
(参考) 18年3月期	8,385		540		444		363	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	21	37		—
18年3月期第3四半期	15	39		—
(参考) 18年3月期	17	61		—

(注) ① 当第3四半期の数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

② 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における国内経済は、企業収益の改善を背景に民間設備投資の増加に加え、個人消費も底堅い動きを示すなど、一般的に景気は緩やかながらも、拡大に向けて明るい見通しとなってきました。

しかしながら、一時の高騰からは落ち着きを見せてはいるものの、原油価格の高騰や世界的な鋼材需要の増大を要因とする鋼材価格の値上がりなど、原材料価格の高止まりが続いており、コスト増の影響など、未だ懸念材料が残っている状況でもあります。

こうした状況の中で、当社は「事業再構築計画」に基づき、その3年目における計画の着実な達成を視野に入れつつ、更なる収益基盤強化・コスト改善のための施策の推進に努めております。

当第3四半期におきましては、原材料価格・委託加工費の高騰、公共工事の減少等厳しい環境も見られますが、建設工事現場での安全重視志向の進展に伴い当社固有のアルミスカイガードの販売を中心に、比較的堅調に推移し、この結果、売上高は、65億7千2百万円となりました。

営業利益につきましては、機材部門の増収及び鉄構部門のコスト改善効果等の事由により、5億2千0百万円となりました。

この結果、当第3四半期の業績は、経常利益4億5千0百万円、四半期純利益4億4千0百万円となりました。

## (2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第3四半期	7,256	1,289	17.8	62	59
18年3月期第3四半期	7,559	801	10.6	38	72
(参考) 18年3月期	7,037	850	12.1	41	25

## 【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	711	△56	△546	498
18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	741	240	△922	389

(注) 当四半期よりキャッシュ・フローの状況の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

## [財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の総資産は72億5千6百万円となり、前期末比2億1千9百万円の増加となりました。

また、純資産につきましては12億8千9百万円となり、前期末比4億3千9百万円の増加となりました。

## [参考] 通期業績予想の修正 (平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日)

(百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,401	442	430
今回修正予想 (B)	8,401	470	445
増減額 (B-A)	—	28	15
増減率 (%)	—	6.3	3.5
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	8,385	444	363

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 20円 78銭 業績予想の修正前

1株当たり予想当期純利益 (通期) 21円 51銭 業績予想の修正後

## [業績予想に関する定性的情報等]

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年18年11月17日の中間決算発表時に公表した平成19年3月期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日) の業績予想を上記のとおり上方修正致しました。

修正の主な理由は、貸貸部門でのコスト改善効果等による収益増及び、支払利息の減少等により、当初の計画を上回るものと予想されたためであります。

(注) 上記の予想は、発表時現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。

## [添付資料]

1. (要約) 四半期貸借対照表
2. (要約) 四半期損益計算書
3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	498	333	164		425
2. 受取手形及び売掛金他	2,333	2,265	67		1,997
3. たな卸資産	792	1,037	△244		829
4. その他	40	176	△135		10
流動資産合計	3,664	3,813	△148	△3.9	3,263
II 固定資産					
1. 有形固定資産	3,260	3,493	△232		3,441
2. 無形固定資産	4	5	△1		4
3. 投資その他資産	327	247	80		329
固定資産合計	3,592	3,745	△153	△4.1	3,774
資産合計	7,256	7,559	△302	△4.0	7,037
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金他	2,143	2,121	21		1,793
2. 短期借入金	1,503	1,665	△161		1,648
3. その他	280	418	△137		294
流動負債合計	3,927	4,205	△277	△6.6	3,737
II 固定負債					
1. 長期借入金	2,026	2,492	△466		2,427
2. 退職給付引当金	—	—	—		—
3. その他	13	59	△46		23
固定負債合計	2,039	2,552	△512	△20.1	2,450
負債合計	5,967	6,757	△790	△11.7	6,187
(資本の部)					
I 資本金	—	275	—		275
II 資本剰余金	—	526	—		526
III 利益剰余金					
当期末処分利益	—	△4	—		40
IV その他有価証券評価 差額金	—	11	—		15
V 自己株式	—	△6	—		△7
資本合計	—	801	—	—	850
負債・資本合計	—	7,559	—	—	7,037

科目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	275	—	—		—
2. 資本剰余金	526	—	—		—
3. 利益剰余金	480	—	—		—
4. 自己株式	△8	—	—		—
株主資本合計	1,273	—	—		—
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価 差額金	15	—	—		—
評価・換算差額等合計	15	—	—		—
純資産合計	1,289	—	—	—	—
負債、純資産合計	7,256	—	—	—	—

## 2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	6,572	6,129	442	7.2	8,385
II 売上原価	5,160	4,773	387	8.1	6,602
売上総利益	1,411	1,356	55	4.1	1,782
III 販売費及び一般管理費	891	886	4	0.5	1,242
営業利益	520	469	50	10.8	540
IV 営業外収益	13	61	△47	△78.0	79
V 営業外費用	82	141	△58	△41.4	174
経常利益	450	389	61	15.8	444
VI 特別利益	—	29	△29	—	43
VII 特別損失	8	99	△90	△91.4	121
税金等調整前四半期純利益	442	320	122	38.2	366
税金費用	1	1	—	—	3
四半期(当期)純利益	440	318	122	38.4	363

3. (要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	(参考) 平成18年3月期
区分	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前当期純利益	442	—	366
減価償却費	338	—	514
支払利息	67	—	97
売上債権の増加・減少額	△99	—	136
割引手形の減少額	△202	—	△63
棚卸資産の増加額	△68	—	△20
仕入債務の増加・減少額	349	—	△62
その他	△46	—	△128
小計	779	—	840
利息及び配当金の受取額	3	—	2
利息の支払額	△64	—	△95
雑収入の受取額	9	—	76
雑支出等の支払額	△7	—	△76
法人税等の支払額	△9	—	△5
営業活動によるキャッシュ・フロー	711	—	741
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△91	—	△175
有形固定資産の売却による収入	32	—	387
その他投資の取得による支出	△12	—	△5
その他投資の減少による収入	14	—	31
その他	0	—	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56	—	240
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の返済による支出	△274	—	△300
長期借入金の返済による支出	△401	—	△719
その他	128	—	97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△546	—	△922
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—	—	—
<b>V 現金及び現金同等物の増加額（又は減少額）</b>	108	—	60
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	389	—	329
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	498	—	389

(注)当四半期よりキャッシュ・フローの状況の開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。